



平成26年(2014)

9

【第4号】

国土交通省関東地方整備局 渡良瀬川河川事務所 大間々砂防出張所 編集・発行
〒376-0101 群馬県みどり市大間々町大間々1204 Tel 0277-72-1664 Fax 0277-72-1669
<http://www.ktr.mlit.go.jp/watarase/>

全国各地で発生している
土砂災害。中には危険区域
外での災害発生も!
みなさまも、対岸の火事
と油断されませぬよう、お
気を付け下さい。

リアルタイムの雨量と
水位を知りたい時は、
コチラ↓↓↓
<http://i.river.go.jp/>

川の防災情報



写真-1 現地視察する桐生土木事務所と渡良瀬川河川事務所の職員=8月26日午後、
桐生市川内町、H25日暮沢二号砂防堰堤工事現場にて



写真-2 日暮沢二号砂防堰堤にて、
桐生土木事務所長(中央手前)



写真-3 大久保沢砂防堰堤にて、
須藤大間々砂防出張所長(中央奥)

**桐生市川内町で施工中の
二つの事業箇所を視察**

7月26日、群馬県桐生土木事務所と国土交通省渡良瀬川河川事務所とで、合同の現地視察を実施しました。

視察箇所は、渡良瀬川支川の山田川筋にある、大間々砂防出張所で工事監督している「大久保沢砂防堰堤」と「日暮沢砂防堰堤群」です。どちらも事業としては継続中であり、今後数年間に渡り工事が予定されている箇所です。

生憎の雨天ながら、初めて本現場を見るという桐生土木事務所の職員の方からは、熱い質問を受けました。

我々国土交通省と同じように、群馬県でも砂防工事を行っていますが、規模的な違いがあるせいか、工事のやり

方等に違いがあり、こういった機会に色々と意見交換をさせていただき大変勉強になりました。

正直な話、まず第一に「桐生土木事務所には女性の技術者が多い!」と感じました。国として、民間企業における女性の活躍を推進していく中、まず国や自治体などの公共の組織が率先してそういう姿勢を示していくことは、とても意義のあることだと感じました。



写真-4 生コン工場にて、挨拶する
堤(つみ)渡良瀬川河川事務所長(中央奥)

合同現地視察を終えて

渡良瀬川支川の工事現場を巡って

キャンプ砂防 in 大間々砂防出張所



写真-6 型枠の組立作業を開始!!



写真-7 プロの指導の下、組立中…



写真-8 型枠の組立作業が完了!!

土木工事現場の体験学習!

実習生の皆さんに、コンクリートを流し込む「型枠」の組立作業を体験していただきました。



写真-5 現場にて須藤出張所長(左)から工事内容の説明を受ける実習生(右二人) =8月18日

- ・足尾歴史館見学等における地元住民の方々との交流。
- ・工事現場で実際の工事作業を体験。
- ・流域調査、砂防事業の現場見学、体験植樹等を実施。

今回は、次のようなメニューや、大学生3人からなる実習生の方々に体験をさせていただき、大変好評を得ることが出来ました。

特長は、いわゆる授業や講義のように、教室で教科書と眺めっこしながら学ぶのではなく、色々な作業を実際に体験したり、あるいは直接、現地に住んでいる人々や現場で働く人々と接して結果的に何かを学びとつていく、という点です。これにより、単なる辞書的な意味での「砂防」を学ぶのではなく、中山間地域に生活する人々に対して果たすべき砂防の役割まで含め、より深く「砂防」というものを知つていただきたいと思つています。

「キャンプ砂防」の最大の特長は、いわゆる授業や講義のように、教室で教科書と眺めっこしながら学ぶのではなく、色々な作業を実際に体験したり、あるいは直接、現地に住んでいる人々や現場で働く人々と接して結果的に何かを学びとつていく、という点です。これにより、単なる辞書的な意味での「砂防」を学ぶのではなく、中山間地域に生活する人々に対して果たすべき砂防の役割まで含め、より深く「砂防」というものを知つていただきたいと思つています。

毎年、砂防の意義や役割などを広く世間の方々に知つていただくため、「キャンプ砂防」というものを実施しています。これは大学生数名を対象に行われるもので、夏休みのうちの一週間程度を利用した泊まり込みで行う体験学習会です。

キャンプ砂防とは?

工事情報

大間々砂防出張所管内における8月28日現状報告



工事①	H25関守三号床工事
工期	H25年11月20日～H26年12月6日
契約額	1億6249万6千8百円(税込)
受注者	池下工業㈱
箇所	桐生市川内町
進捗率	76.0%

大間々砂防出張所管内工事位置図

